

至徳

射水市立金山小学校
学校だより

令和2年10月27日

No. 23



ウサギとかめ

令和2年度の持久走記録会を11月5日(木)(雨の場合は6日(金)に延期)に行います。体育の時間の他に、21日からは全体練習、ロード練習が始まりました。

持久走といえば思い出されるのは「ウサギとカメ」のお話です。皆さんもよく知っておられると思います。ウサギに歩みの遅いことを馬鹿にされたカメがウサギに山のふもとまでかけっこの勝負を挑みます。かけっこが始まると予想通りウサギがどんどん先に行き、余裕ができたので少しカメを待とうと居眠りをしてしまい、その間にカメは自分の速さでゆっくり確実にゴールを目指し、ウサギが目を覚ましたときにはカメはゴールし大喜びしたというお話です。ウサギは「カメとの勝負に勝つ」ことを目標に走っていたためゴールする前に少し休んでも負けないと思ったのでしょうか。でも、カメは勝負に勝つことを目標にしていただけではなく、自分の速さでゴールまで走りきることを目標にしていたのではないかと思います。

持久走は誰かとの競走ではなく、自分の記録の向上を目指し、粘り強く走り続けることが目標だと考えます。ウサギではなく、カメのように走ることを目当てに取り組んでほしいと願っています。ご家庭でも励ましの言葉をかけていただければと思います。また、走った日は、疲れていると思いますので、十分な休養をとるなど体調管理もお願いします。



1年生：初めての持久走記録会に向け

○ 立神池の見学



金山地区は、古くからため池を利用した生活が行われています。4年生は、総合的な学習の時間に地域学習の一環としてため池の学習をしています。今年も講師に青井谷地区の野手宗秋さんに来ていただき、21日(火)に金山地区で一番大きなため池の「立神池」を見学しました。野手さんから、ため池の水が米作りに欠かせないこと、下流地域での洪水を防ぐ役割があること、火

事の際の防火用水、降雪時の融雪として活用されること等たくさん役割があることを教えてもらいました。子供たちは、自分たちの住む金山地区を詳しく知ることができました。ため池がしっかりと役割を果たすために水を抜くなどの管理も大切であることも教えていただきました。

30日には、水を抜いた引面池にも行きます。ため池のことをもっと知ることができそうです。ため池の見学に加えて、そこに棲む生き物をつかまえる活動も体験させていただく予定です。子供たちにとって貴重な体験となりそうです。



○ 木の枝で鉛筆づくり

3年生は、22日（水）に金山里山の会を講師にお迎えし、里山でとれたコナラの小枝を使っての鉛筆づくりを体験しました。

鉛筆づくりの前に、山と里の間にある里山は、熊等の動物と人間の住む場所を分け、互いに安心して暮らすために必要なところであることを教えていただきました。また、土砂崩れを防いだり、倒木となり流れ出しさらなる水害につながらないようにしたりする大切な役割を果たしていることも教えていただきました。



鉛筆づくりでは、初めて使う小刀に始めは少し緊張していましたが、先生方に丁寧に教えていただくことで上手に使えるようになりました。そして、自分だけのお気に入りの鉛筆を仕上げました。



小刀の使い方と共に自分たちの身近にある里山にも目を向けることができたステキな時間になりました。

○ さつまいもでシチュー給食



22日（水）の給食には1、2年生が収穫したさつまいもを、シチューに混ぜてもらいました。どっさりに入ったさつまいもは、甘みもあり全校でおいしく食べました。



○ カニ給食

今年も6年生がベニズワイガニをまるごと一杯食べるカニ給食の日が23日（金）に実施されました。カニ給食は、ふるさとの自然や食文化に理解を深めてもらおうと、新湊漁協によって2003年度に旧新湊市で始まりました。市町村合併後の現在は射水市の全小学校15校の6年生に提供されています。

まるまる一杯のカニを食べるのに慣れていない子供がほとんどでしたが、カニの食べ方ビデオを視聴したり、栄養教諭の稲垣先生に教えてもらったりしながら、食べました。「かに味噌、めっちゃおいしい」「やった！身がきれいにとれた」「おいしい」と子供たちの笑顔が広がりました。

